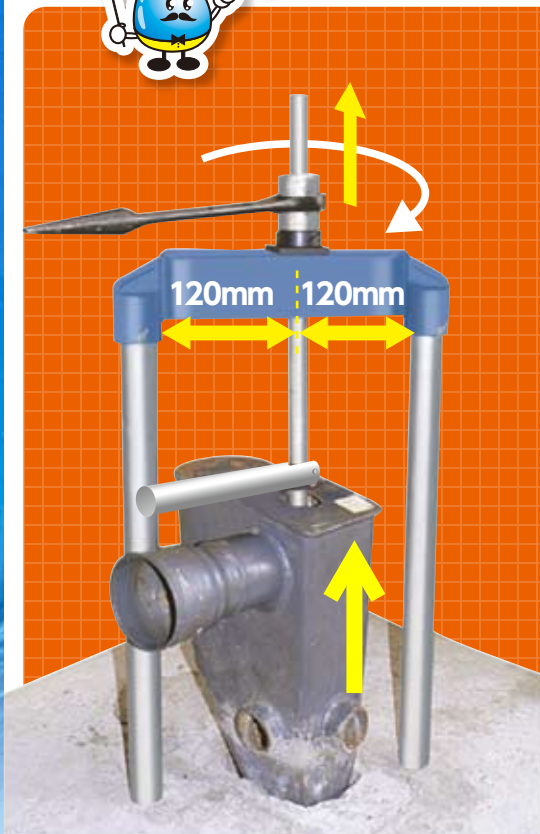


KOJIMA からのご提案書



<http://www.kojima-core.co.jp>



既設配管の交換に朗報
既設配管を人力でPULL[引上げ]&PUSH[押上げ]
省エネ・低騒音・低振動工事を実現!

手動式ねじジャッキ

業界初

プルッシュジャッキ

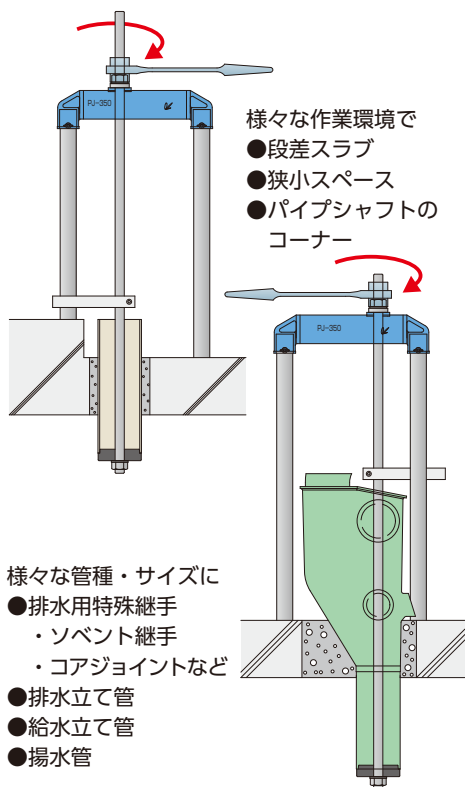
PJ-350

配管更新用手動式ジャッキ

プルッシュジャッキPJ-350は、業界初の手動式ねじジャッキによる配管引抜きが可能です。また、引き抜き後の開口部にピッタリと納まるマーメイド継手やスリム短管等を使用すれば、埋戻し作業を軽減できます。

幅広い管種や 口径サイズに対応

ソベント継手や当社COREジョイント、その他特殊継手に対応。
直管は呼び40~125まで引き抜きが可能です。



はつり・コア抜き不要

コンクリートの廃材や粉塵、泥水を発生させない引き抜き工法です。大掛りな養生が要らず、作業の時間短縮とコストダウンが可能です。

生活環境への影響が少ない!

低騒音・低振動で作業が行えるので居住者の不快感を軽減。さらに粉塵や泥水を発生しない生活環境に配慮した工法です。

狭小スペースや段差でも作業OK

偏心調整機能の他、支持脚調整もできますので、狭小スペースや段差などの作業環境でも引き抜きが可能です。

比較項目	新工法 (プルッシュジャッキ) PJ-350	従来工法 (ハツリ工法)
対応管径	呼び40~125 ()	制限なし
コンクリート床工事	引抜き(はつり不要)	配管廻りの床を壊す
騒音・振動・粉塵	低騒音・低振動	騒音・振動・粉塵大
生活環境への影響	少ない	多い
コスト	時短施工でコスト減	施工時間がかかり、コスト増

呼び100以外は別売品の専用引上げ駒が必要です。

水とくらしのグッド・パートナー
株式会社 **小島製作所**
<http://www.kojima-core.co.jp>



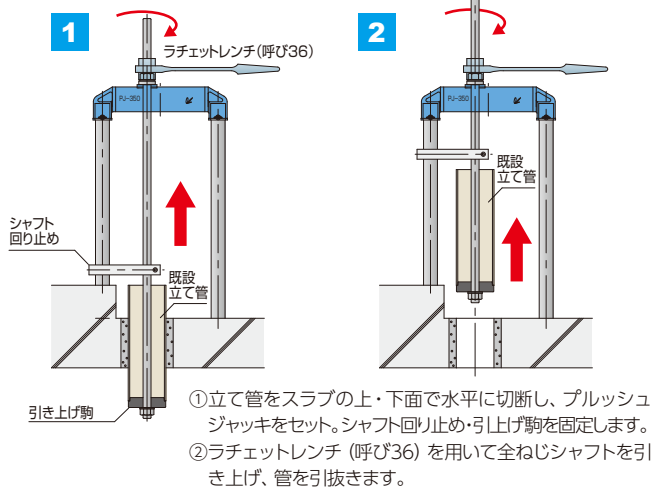
ISO 9001 認証

JQA-2678

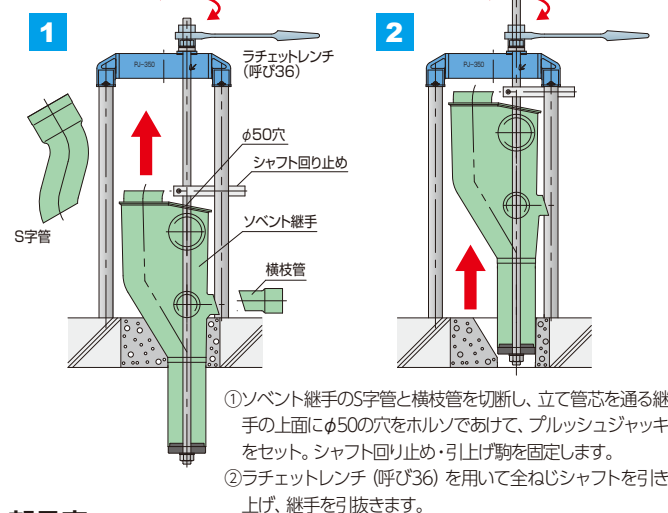
配管更新時用 “ジャッキアップ引き抜き工法” のご提案

施工手順

●既設立て管(直管)を引き抜く場合

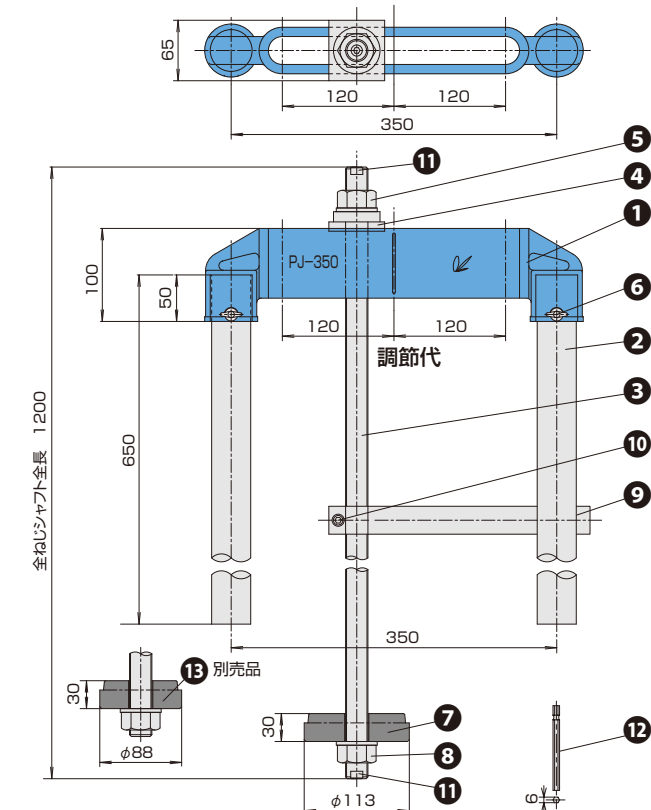


●既設ソバント継手を引き抜く場合



形状・寸法

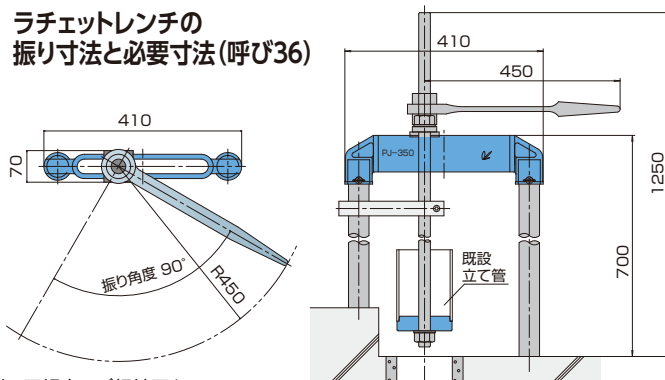
●ラチェットレンチ(呼び36)は付属しておりません



部品表

No.	部品名	材質	表面処理
1	ジャッキ本体	FCD500-7	エポキシ樹脂コーティング
2	支持脚	SGP-32A(黒)	-
3	全ねじシャフト/M24	SNB7	黒染め
4	軸受け板	SS400	黒染め
5	ベアリングナット/M24	S45C	黒染め
6	蝶ボルト/M8	SS400	亜鉛めっき
7	引上げ駒/100	SS400	黒染め
8	フランジナット/M24	S45C	黒染め
9	シャフト回り止め	SS400	黒染め
10	六角穴付ボルト/M10	S45C	黒染め
11	六角穴付止めねじ/M12	S45C	黒染め
12	ドライバビット(六角:対辺6)	S45C	黒染め
13	引上げ駒80(別売品)	SS400	黒染め

ラチェットレンチの振り寸法と必要寸法(呼び36)



⚠ 施工上のご注意

引上げ駒は、管種・管径に合ったものを別売しています。下記宛にご相談下さい。

- ① ラチェットレンチ(呼び36)は付属していません。 使用します。引抜き時には使用できません。
- ② 排水継手の下部接続部がフランジタイプの場合やプルッシュジャッキPJ-350が設置できない場合など、条件によっては引き抜きができない場合がありますのでご注意ください。
- ③ ドライバビットは、全ねじシャフトの両端部に取付けた六角穴付ボルトの先端に装着して、インパクトレンチでシャフトを上下に移動させる場合に ④ シャフト回り止めが緩んでいると、シャフト自体が回転して、フランジナットが緩み、引上げ駒が落下する恐れがありますので、必ず適所にシャフト回り止めを取付けてください。
- ⑤ ジャッキ作業中は、直下階および開口部付近で作業をしないでください。落下物にご注意ください。